



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年5月30日

青森市環境保全活動団体表彰を受賞

長年の資源リサイクル活動等が評価される

当組合が平成25年度青森市環境保全活動団体表彰を受賞し、表彰式が4月16日(水)に青森市役所で行われた。同表彰式には組合を代表して柳谷副理事長が出席し、鹿内青森市長より賞状と記念品が授与された。

青森市環境保全活動団体表彰とは、青森市内で清掃活動や植林事業、資源のリユース・

リサイクルなどの環境保全活動に意欲的に取り組んでいる団体を表彰する制度。このような活動を広く市民に紹介することで、環境に対する意識向上及び環境に配慮した活動を推進することを目的に昨年度創設された。

第1回となった平成25年度は、37団体からの応募があり、選考の結果、当組合を含む5

団体が受賞した。当組合では、平成14年度よりごみの分別・リサイクル回収をスタート。企業集団での取り組みは先進的な事例として大いに注目を浴び、現在のリサイクル回収率は50%を大きく超える。

また、問屋町合同清掃には1回あたり平均200名以上が参加し、地域環境美化に貢献。組合員従業員で組織される「問屋町緑のボランティア隊」では、花苗植栽や街路樹の下枝剪定を行うなど、環境整備事業に取り組んできた。

このような活動が認められ、このたびの受賞となった。表彰式終了後には、各受賞団体が鹿内青森市長に活動の報告を行い、組合からは、実験事業として昨年度から実施しているパソコンリサイクル回収をはじめとする資源リサイクルへの取り組みについて説明。また、問屋町地域の環境整備・保全活動を加速させるべく、当組合の取り組みに対する青森市の更なる協力を要請した。



鹿内青森市長より表彰を受ける柳谷副理事長(右)

組合では引き続き、組合員及び関係団体の協力を得ながら、地域環境保全活動に精力的に取り組んでいく。

春を迎え問屋町の清掃活動スタート

今年度1回目となる問屋町合同清掃が4月10日(木)に実施された。春まだ浅く、道路脇に雪の残る中で行われた同活動には、問屋町、第二問屋町合わせて186名が参加した。

当日はあいにくの曇天で、途中からは小雨も降る中、参加者は沿道はもちろんのこと、組合共同施設周辺など団地内の隅々まで清掃活動を行い、雪解けとともに現れた多くのごみを回収した。

春の風物詩となっている当活動は、地元の新聞やテレビのニュースでも取り上げられるなど地域の関心も高い。

また、ゴールデンウィーク明けの5月7日(金)には、問屋町南側に位置する㈱ユアテック青森支社・青森営業所が、地域貢献活動の一環として合同でゴミ拾いを行った。従業員120名が参加した清掃活動は、同社周辺から問屋



問屋町合同清掃



ユアテックによる清掃活動

平成26年度 受講生募集中!

人づくり。

地域中小企業の人づくりをめざして
問屋町ビジネススクール

貸出用具一覧
草刈り機 (本体2stエンジン)
高枝ばさみ
スコップ (丸)・(角)
ねこ車
草刈り鎌
デレキ
ハウキ・チリトリ
竹ハウキ
竹熊手
窓ホー (草削り)
側溝泥すくい (ジョレン)
側溝泥すくいスコップ
二段ハシゴ
脚立 (天板の高さ3m・2m)

今年度の清掃用具 無償貸出スタート

組合では、昨年度に引き続き清掃用具の無償貸出を実施する。

同サービスは、エンジンタイプの草刈り機や高枝ばさみ、各種清掃用具等を無償で貸出し、団地内の更なる景観美化推進を図るもの。昨年7月の貸出開始から延べ15社ほどが利用した。

草刈り機は安全に配慮し、金属製の刃ではなく、ナイロンコード式の機種を用意。フェイスタガードも合わせて貸出する。なお、消耗品である燃料及びナイロンコードは利

今年度の清掃用具 無償貸出スタート

用者負担 (有料) となっており、問屋町ストアで販売する。貸出用具の一覧や写真は組合ホームページにて公開中。

清掃用具貸出に関するお問い合わせは、卸センター業務部 (☎73814711) まで。



貸出清掃用具

同サービスは、エンジンタイプの草刈り機や高枝ばさみ、各種清掃用具等を無償で貸出し、団地内の更なる景観美化推進を図るもの。昨年7月の貸出開始から延べ15社ほどが利用した。

草刈り機は安全に配慮し、金属製の刃ではなく、ナイロンコード式の機種を用意。フェイスタガードも合わせて貸出する。なお、消耗品である燃料及びナイロンコードは利用者負担 (有料) となっており、問屋町ストアで販売する。貸出用具の一覧や写真は組合ホームページにて公開中。

清掃用具貸出に関するお問い合わせは、卸センター業務部 (☎73814711) まで。

大星神社で祈年祭・観桜会開催

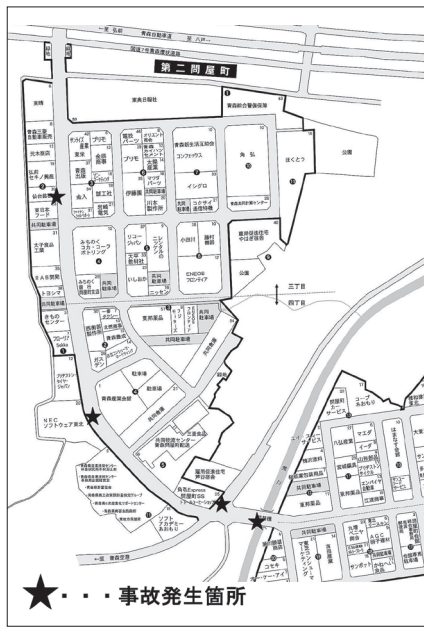
5月2日 (金)、当卸団地の氏神様である大星神社において、祈年祭及び観桜会が開催された。



大星神社境内のシダレザクラ



祈年祭



問屋町内交通事故発生箇所

事故が33件と、全体の6割以上を占める結果となった。

また、問屋町内での事故件数は加害事故が2件、被害事故が2件の計4件発生。発生箇所は、左図のとおり第二問屋町地区に集中した。

同支部では、この調査結果を事故防止に活かし、問屋町内交通死亡事故ゼロ7,000日達成を目指すべく、各種事業に取り組んでいく。

営業用食器・厨房設備・器具専門商社

株式会社 プリモ

青森店 青森洋食器
〒030-0113
青森市第二問屋町3丁目3番8号
Tel 017-739-9355 Fax 017-739-9359

食品・酒類卸

丸大堀内株式会社

〒030-0131 青森市問屋町2丁目15番22号
電話 017-738-4311

第47回通常総会の提出案件と承認 第1回理事会

第47回通常総会の提出案件や組合施設の賃貸、組合員の隣地買増及び脱退などを審議する平成26年度第1回理事会が4月22日 (火)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、青森市環境保全活動団体表彰の受賞や、問屋町ビジネススクールの平成26年度上期カリキュラムについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり

案件一 組合施設の賃貸について

案件二 出資金の譲渡承認について

案件三 組合員の隣地買増及び脱退について

案件四 組合員跡地買取資金の借換えについて

案件五 第47回通常総会の提出案件について

理事会終了後に開かれた青森問屋町配送 (株) の第1回取締役会では、新規車両の購入や第34回定時株主総会の提出案件などが審議され、全て原案どおり承認。また、青森卸センター (株) の第1回取締役会も開催され、審議の結果、提出案件全てが異議なく承認可決された。

青森交通安全協会問屋町支部が例年実施している交通事故実態調査の平成25年度調査結果がまとまった。

25年度の事故発生件数は、24年度は63件発生した加害事故が50件と13件減少。被害事故も34件と前年度の51件から17件減少した。

事故要因についての調査結果では、例年同様、前方不注意が最多で19件、構成比は38%であった。また後方不注意による事故が8件、右左折時の不確認による事故が6件発生しており、前方不注意と合わせると確認不足が原因の

交通事故発生件数減少 交通事故実態調査

事故が33件と、全体の6割以上を占める結果となった。

また、問屋町内での事故件数は加害事故が2件、被害事故が2件の計4件発生。発生箇所は、左図のとおり第二問屋町地区に集中した。

同支部では、この調査結果を事故防止に活かし、問屋町内交通死亡事故ゼロ7,000日達成を目指すべく、各種事業に取り組んでいく。

「問屋町内交通死亡事故ゼロ6千日」達成記念ふるまい会開催

青森交通安全協会問屋町支部では、会員企業従業員を対象にふるまい会を開催する。ふるまい会は、平成26年4月1日をもって達成した「問屋町内交通死亡事故ゼロ6千日」を祝うと共に、更なる記録へのチャレンジに向け、安全運転意識高揚を図ることを目的に開かれる。

今回は、B-1グランプリで有名な十和田バラ焼きゼミナールの方が、本場のバラ焼きを提供。その他にも各種メニューが無料で楽しめる。

◎日時
6月26日(木) 正午～

- ◎会場
問屋町会館駐車場
- ◎メニュー(予定)
- ①十和田バラ焼き
 - ②八甲田牛メンチカツ
 - ③県産品サンドイッチ
 - ④問屋町クレープ
- ※数量限定・なくなり次第終了



前回のふるまい会の様子

業務報告

…主要事項…

- 4月
- 1日▽問屋町内交通死亡事故ゼロ6千日達成
 - 2日▽安協問屋町支部「問屋町内交通死亡事故ゼロ」推進運動「決起大会」
 - 8日▽問屋町経営同友会第1回役員会
 - 10日▽第1回合同清掃
 - 11日▽東北卸商業団地連絡協議会幹事会
 - 14日▽第1回三役会
 - 15日▽金融審査会
 - 16日▽(株)青森共同計算センター
- 1 定例取締役会
▽平成25年度青森市環境保全団体表彰式
17日▽問屋町支店長・所長連絡会第1回幹事会
18日▽会計監査
22日▽第1回理事会
- …問屋町
ビジネススクール…
- 23日▽顧客の心をギュッとつかむ営業研修(名刺交換編)
- ▽(株)北斗医理科
(旧)北斗医理科

組合員社名変更

▽(株)北斗医理科
(旧)北斗医理科

「経済雑感」シリーズ第29弾は、問屋町ビジネススクールで講師を務める、日本営業ツール研究所代表の吉見範一氏にご寄稿いただいた。

経済雑感 第五十七回

日本営業ツール研究所 代表 吉見 範一

「ああ、やはりここも同じか」青森も例外ではなかった。ビジネス系セミナーの参加者名簿を見ると一目瞭然。日本全国どこへ行っても共通しているのは地元で一番元気な企業の参加率が一番高いことです。そして売上が低迷していて解決策が見つからずに苦戦している企業に限って参加率が低いです。その結果、企業の格差がますます広がっていく。残念ながらセミナーに参

加すると講師が各社に最適な販売戦略を教えてくれるわけではありませんが、不況だと言われているこの時期でも順調に成長している企業がたくさんあって、そうした元気な中小企業に共通しているノウハウを取り出し、整理してわかりやすく解説しているのには驚かされています。そして応用可能な事例やヒントを自社に当てはめて改善している企業が世の中の景気に左右されることなく順調に業績を伸ばしています。



日本営業ツール研究所 代表 吉見 範一 氏

伸びている企業の経営者は勉強家が多く「なぜ売れないのか」という本質を知っています。売れないことを理解して問題ではないことを理解しています。ところが不勉強な経営者はそこを履き違えて「営業力の強化が必要だ!」など時代錯誤な方向に走りやすいモノが売れないのは供給過多が原因です。使う量より売られている量の方が多いから唐突に売り込んでも売れません。成熟市場では「欲しいモノ」も「買う理由」も人によって違います。答えがひとつではないのです。ご存知のように「いい商品だから売れる」という発想は今の時代では通用しませんよ。自社にとって本当にいい商品かどうかは実際に使ってみるまでわからないので「いいと思っただけの商品が売れる」と考えます。ではこの時代に伸びている企業はどうやってその考え

るビジネスに結びつけているのでしょうか。その答えのひとつが売れている企業の構造です。伸びている企業ほど営業力に頼っていません。誰が売っても売れるようになっていくし、黙っていてもお客様から問合せが来て「売ってください」と言われるような仕組みを強化しています。そう言うとか特殊なことややっているのかのような印象を持つかもしれません。ところが実際に仕組の内容を聞いてみると誰もが知っている基本的なことばかりなんです。むしろ難しいことはやらない。シンプルな行動に絞って徹底しています。だからこそ継続可能な仕組みとして機能しているのです。(つづく)

CircleK Sunkus 経営者募集

サークルKサンクスのコンビニ経営はじめませんか

株式会社サークルKサンクス 青森事務所
お問い合わせ：電話017-738-8351

～ 明日のエネルギー環境を創る ～

ボイラー・空調機器の

AC エイ・スイー・サービス 株式会社

据付・修理・計装・保守サービス

〒030-0131 青森市問屋町一丁目12番2号
[本社] TEL:017-738-7788
[十和田営業所] TEL:0176-22-9202

不動産登記・調査・測量・境界確定

平尾測量登記事務所

土地家屋調査士 平尾 健吾

〒030-0919
青森市はまなす1丁目16番6号
TEL:017-718-4577 FAX:017-718-4578

雑貨のあるガーデンショップ

Leaf

リーフ (by だいいちぞうえん)

お庭の設計(CAD)・施工・管理
青森市第二問屋町1丁目4-4 TEL 080-6058-3881

問屋町ビジネスブックカフェ通信

本紙では今号より、「問屋町ビジネスブックカフェ」に展示されている書籍を紹介する「問屋町ビジネスブックカフェ通信」を不定期掲載する。

「問屋町ビジネスブックカフェ」とは、問屋町会館1階玄関ホールにてビジネス書を常設展示するスペースであり、平成24年2月にオープン。同カフェに展示される書籍は、平成23年10月の問屋町ビジネススクール開校を記念し、組合員の



問屋町ビジネスブックカフェ

(株)金入より寄贈された。

展示されるビジネス書は青森県南部町在住の人気ビジネス書評家である聖幸(せいこう)氏がセレクト。同氏がオススメする「10年後も読みたい」100冊と、「毎月のトレンドを捉えた」10冊の合計

110冊のビジネス書を常設。書籍は隣接する問屋町ストアにて購入可能となっている。記念すべき第1回に紹介するのは「アンシンクUNThink 眠れる創造力を生かす、考えない働き方」(講談社)もあるエリック・ウォール。なお、本の紹介文は、聖幸氏によるものである。

「ビジネスでは理詰めで攻めなければならぬ場面と同じように創造性を発揮し従来にないアイデアが必要になります。しかし、創造性を開かせるようなトレーニングは会社



でも個人でも行う場面はなかなかありません。本書では、創造性を発揮しビジネスに生かした事例や、創造性を開かせるトレーニング方法などが書かれています。「ビジネスの理論+アートの創造性」を結びつけることにより新しい製品やサービス、そして生き方が開けていきます。」

団地企業訪問

今回は、4月に株式会社みちのく銀行問屋町支店に金沢支店から赴任した三和支店長にお話を伺った。

「家庭の銀行みちのく銀行」として知られる同行は、そのキャッチコピーのとおり地域に根差した銀行として、県内82カ所県外18カ所に店舗を展開し、従業員数約130名を抱える青森県を代表する地方銀行である。

「当行では、「リテール分野での地域トップバンク」を目指し、平成24年度から第三次中期経営計画を実施しており、現在は最終段階にあります。

重点戦略である全員営業体制の構築に向け、融資・窓口・個人営業業務の革新と共に行われたのが、エリア営業体制の導入です。これまで以上に店舗間の連携を強化すべく店舗をエリアでまとめ、渉外行員をそのエリアの統括店に集約しました。行員間の情報交換を活発にするのと、競争し互いに切磋琢磨し合うことが狙いです」と話した。



銀行 問屋町支店 支店長 三和 尚氏

「個人客の多い他店に比べ、

当店は法人客が多いため、渉外行員の集約はなかったのですが、週に1度統括店に赴き、エリア内の情報交換をしております。これにより、行員のセールス力

が以前に比べずっと向上したように感じます。当店は金沢支店等と共に青森南エリアに含まれますが、このエリアは成長著しい浜田・西大野地区をカバーする重要地区でもあるので、行員にはよりセールス力を磨いてもらいたいです」と取組みについて語った。

これからの目標について伺うと、「お客様へのく足を運ぶ」を今年のテーマに掲げています。お客様を訪問し、その会話からお客様のニーズを探ったうえで、全行員が共有できる仕組みとしております。それを基にビジネスマッチングに繋げ、お客様の本業を支援でき

たら良いなと思っています」と力強く語った。

赴任先での抱負については、「店内のCS(顧客満足)向上に努めたいです。そのためにはまず、ES(従業員満足)向上が不可欠です。行員同士の連帯感を深め、全員が同じ方向にむかって行けるようにしていきたいです。一緒に働いている仲間が褒められるのが一番嬉しいので、そういう店にしたいです」と述べた。

(53歳)

編集後記

一面でもお伝えしましたが、当組合のごみ分別リサイクルや問屋町合同清掃などの環境活動が、青森市から認められ団体表彰を受賞することができました▼問屋町内・交通死亡事故ゼロ六千日運動などもそうでしたが、継続・持続する事業や活動が評価されるということは、構成員のモチベーションアップにも繋がります。「継続は力なり」は個人だけでなく団体にも云えることだと思います▼転話題。前号に引き続き、代表的案観論エコノミスト・武者棧司氏の見解をご紹介します▼武者氏は、今年3月期の過去最高水準の企業利益(上場企業で経常利益36%増、純利益73%増)は、今後の好循環の起点になると断言しています▼この過去最高の企業収益は円安による一時的なものではなく「①日本企業の世界最大のリストラ/スリム化(損益分岐点の大幅低下とアベノミクスによる売り上げ増) ②日本企業の新ビジネスモデル(グローバル基盤)の確立③技術開発投資継続による技術優位性の確立」によってもたらされたもので長期増益基調のものであるとみています▼また、これまで日本株式のマイナスマテリアルとされた要因▼①海外情勢不安②需給悪化(外人の売り)と日本投資家不在)③アベノミクスへの懐疑、消費税不安④安倍靖国参拝批判、日米関係の軋み)も、ことごとく消えつつありますが武者氏が当ることを祈っています(藤本)

みちのく銀行は地域の皆さまを応援します!



家庭の銀行 みちのく銀行 問屋町支店 ☎739-1100

TM & © Turner Entertainment Co. (S14)

Personal Main Bank AOGIN

パーソナルメインバンクあおぎん



世代を越えて、あなたのそばに。

青森銀行 http://www.a-bank.jp/